

所管課	生涯学習部文化・スポーツ振興課												
施策の大綱	まちづくりの目標(章)	施策分野(節)		施 策									
	第3章 元気創造都市	06 市民スポーツ		02 スポーツ振興の環境を整える									
事業：スポーツ施設管理運営事業							整理番号 0592						
目的	市民が身近にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の運営管理を行い、施設利用における利用者の安全の確保と利便性の向上を図る。												
目標	スポーツに親しむことができる場を確保し、スポーツの推進を図るとともに、施設利用における利用者の安全の確保と利便性の向上を図る。												
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)	99,986		コスト情報・評価	総コスト(千円)	111,794		総合評価	A	妥当性	A		
	財源内訳	一般財源	78,949		事業費	99,986				効率性	A		
		国府支出金	0		人件費	2,287				有効性	A		
		地方債	0		公債費	9,521		適正な施設の運営管理を行った。					
		その他特定財源	21,037		一人あたり(円)	1,001							
					世帯あたり(円)	2,366							
評価理由													
貢献度	施策に対する事業貢献度	A		根拠	適正な施設の運営管理を行った。								
今後の方向性	円滑なスポーツ施設の運営管理を行い、施設利用におけるさらなる利用者の安全確保と利便性の向上を図る。												

事業優先順位	1 細事業：スポーツ施設管理運営事業							整理番号	02	
目的	スポーツ施設情報システムを運用し、市民に簡単便利なサービスを提供するとともに、スポーツ施設の管理運営の円滑化を図る。									
目標	スポーツ情報システムの円滑な運用管理を行うとともに、市外の方の登録者の拡大を図る。									
事業実施主体	直営	事業開始年度	平成10年度以前		根拠法令	河内長野市スポーツ施設情報システムの利用者登録等に関する規則				
事業費・財源			平成25年度	平成24年度	比較			平成25年度	平成24年度	比較
	財源内訳	事業費(決算額)(千円)	99,986	93,865	6,121	コスト情報・従事職員数	総コスト(千円)	111,794	113,766	-1,972
		一般財源	78,949	71,597	7,352		事業費	99,986	93,865	6,121
		国府支出金	0	0	0		人件費	2,287	1,984	303
		地方債	0	0	0		公債費	9,521	17,917	-8,396
		体育施設使用料	2	22,268	-1,231		一人あたり(円)	1,001	1,008	-7
		スポーツ施設利用料	20,923				世帯あたり(円)	2,366	2,413	-47
		オーパス更新料等	112				職員数(人)	0.30	0.25	0.05
再任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00							
今後の方向性	円滑なスポーツ施設の運営管理を行い、施設利用におけるさらなる利用者の安全確保と利便性の向上を図る。									
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	スポーツ施設利用者					
	A	A	A							

事業：スポーツ施設管理運営事業

市民が身近にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の運営管理に指定管理者制度を導入し、施設利用者の利便性の向上を行った。

細事業：スポーツ施設管理運営事業

1. 施設利用状況

スポーツ施設を安全に使用できるよう施設の維持管理を行い、スポーツ環境の整備に努めた。

単位：人

施設		利用人数	利用率 (%)	施設		利用人数	利用率 (%)
市民総合体育館 (競技場・第2競技場・会議室・卓球場・トレーニング室)		132,823	—	寺ヶ池公園野球場		31,025	25.9
				天野少年球技場		19,929	36.3
				武道館		34,638	78.2
運 動 場	大師総合運動場	77,212	61.7	庭 球 場	寺ヶ池公園庭球場	31,959	70.6
	下里総合運動場	56,773	20.3		大師庭球場	12,117	47.2
	赤峰市民広場 (野外ステージ・控室・会議室・研修室)	113,095	—		荘園庭球場	12,877	26.9
キ ャ ム 場	赤峰市民広場	955	—	プ ール	寺ヶ池公園プール	16,447	—
	岩湧野外活動広場	619	—		烏帽子形公園プール	9,085	—
				合 計		549,554	—

(※利用率は使用時間を利用可能時間で割って算出)

2. オープス・スポーツ施設情報システム利用状況(メディア別)

オープス・スポーツ施設情報システムを引き続き運用し、スポーツ施設の運営を円滑にするとともに、利用手続きの簡素化・迅速化により、サービスの向上を図った。

メディア別	音声	街頭端末	インターネット	携帯ウェブ	業務端末	合計
利用件数	1,747	1,909	45,619	980	6,656	56,911
構成比 (%)	3.0	3.4	80.2	1.7	11.7	100.0

3. スポーツ振興事業

(1) 市民スポーツ大会の開催(計23種目 参加者総数 約9,100人)

バドミントン、バスケットボール、サッカー、ソフトボール、テニス、バレーボール、ゲートボール、少年軟式野球、ソフトテニス、卓球、軟式野球、剣道、少林寺拳法、居合道、陸上競技、水泳、柔道、ペタンク、グラウンドゴルフ、インディアカ、体操フェスティバル、軽スポーツ、スポンジテニス

(2) 大阪府総合体育大会派遣事業(総出場者数 483人)

参加種目 サッカー、ソフトテニス、ソフトボール、卓球、テニス、軟式野球、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、剣道

4. 市民スポーツ教室開催事業

(1) トレーニング講習会(実施回数: 16回 受講者数: 285人)

市民総合体育館トレーニング室の安全かつ効果的な利用を図るため、講習会を開催した。

(2) トレーニング相談(実施回数: 12回 相談者数: 45人)

市民総合体育館トレーニング室利用者に対し、トレーニング方法などについて、専門トレーナーが指導・相談を行った。